

## 【健康食品・サプリメントおよびメディカルハーブ】

現時点での最新エビデンスを俯瞰するとき、サプリメント・健康食品の適正使用は、健康増進・未病改善・健康寿命の延伸に有用であるとの見地から、日常臨床での実践に資するデータベースや情報源を取りまとめ紹介しています。サプリメント・機能性食品の分野では、さまざまな学会や団体、企業による情報提供が行われており、専用サイトが設けられています。運営母体の背景や趣旨により、提供される情報の内容に特徴があります。公的な研究機関や大学などの運営元からの情報提供サイトでは、安全性に関する情報が主体となり、有効性に関する内容は十分とは言えないことがあります。

### <学会・団体等>

- ◆ 国立健康・栄養研究所（NIBIOHN）  
<https://www.nibiohn.go.jp/eiken>
- ◆ 一般社団法人日本抗加齢学会  
（サプリメント/機能性食品も含めた幅広い分野を研究対象としている学術団体）  
<https://www.anti-aging.gr.jp/>
- ◆ ファンクショナルフード学会  
（旧グルコサミン研究会。日本学術会議の協力学術研究団体に指定されており、研究主体の団体。研究対象は、機能性食品素材の有効性を網羅）  
<http://glucosamine.kenkyuukai.jp/information/>
- ◆ 日本脳サプリメント学会  
（認知症の予防や治療に係わるサプリメントを対象とした学術団体）  
<https://brainsupplementoff.wixsite.com/mysite>
- ◆ 一般社団法人日本サプリメント学会  
（母体は女性のヘルスケアをテーマとした団体及び医療機関）  
<http://destiny-digital.jp/jsfds/htdocs/>
- ◆ 日本機能性食品医用学会  
<http://www.jsmuff.com/new/wordpress/>
- ◆ 一般社団法人日本健康食品・サプリメント情報センター（Jahfic：ジャフィック）  
（消費者の側に立った健康食品・サプリメントの適正使用のための啓発を行っている）  
<https://jahfic.or.jp/>
- ◆ 日本ハーブ療法研究会  
<http://jsphyto.org/index.html>
- ◆ 特定非営利活動法人日本メディカルハーブ協会  
（メディカルハーブに関する啓発を行う協会。会員数は1万1000人で国内最大のハーブ関連団体）

<https://www.medicalherb.or.jp/>

- ◆ American Botanical Council (ABC)  
(米国テキサスにある非営利団体。モノグラフを発刊)  
<https://www.herbalgram.org/>

<検索・データベース等>

- ◆ 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所  
(健康食品の安全性・有効性情報；「基礎知識」「被害関連情報」「素材データベース」からなる)  
<https://hfnet.nibiohn.go.jp/>
- ◆ 国立医薬品食品衛生研究所 生化学部：アレルゲンデータベース  
<https://www.nihs.go.jp/dnfi/database.html>
- ◆ 城西大学：「食品 - 医薬品相互作用データベース（城西大学薬学部 編纂）」  
(一次文献情報に基づく信頼性の高い「食品-医薬品相互作用データベース」と、  
医薬品添付文書情報に基づいた「抗がん剤と食事の相互作用・禁忌食品  
データベース」)  
[https://www.josai.ac.jp/education/pharmacy/fdin\\_db/index.html](https://www.josai.ac.jp/education/pharmacy/fdin_db/index.html)
- ◆ 米国 NIH ODS：ダイエタリー・サプリメント・ラベル・データベース  
Dietary Supplement Label Database (DSLDB)  
<https://dsldb.od.nih.gov/dsldb/>
- ◆ 米国 NMDDB：ナチュラルメディスン・データベース  
(米国では、オンライン版のみであるが、日本語版では、オンライン版と書籍版(「健康食品・サプリ[成分]のすべて 第6版」)がある)  
<https://trchealthcare.com/about-us/products/natural-medicines/>  
<https://jahfic.or.jp/nmdb> (日本語版)